

主張には理由がある

子育てをしていると、大人になった私達には思いもつかない子どもの言動に出会うことがあります。5, 6年前になるでしょうか。

会社員として働きながら漫画やイラストを描いておられる「あおむろ ひろゆき」氏の新聞記事を目にし、ほほえましく、心温かくなることがありました。

その文章を紹介します。

一見、突拍子もないと思ってしまう子供たちの言動。

それらに無意味なものはなく、必ず何かしらの理由があると思って接しています。

いつだったか、朝食の時。あまり時間がなかったので「今日はパパが塗るね」と言い、トーストにバターを塗り、次にいちごジャムをと思ったら、3歳の娘が怒り出したことがありました。

大好きなジャムバターのトーストなのに、「なんでそんなに怒るの?」と聞いても、ずっと怒っています。

仕方なくまたトーストを焼いて「何を塗ろうか?」と聞くと「まずジャムを塗って、それからバターを塗るの」と言うんです。

えっ、それさっきやったよ…と聞いていたら、「その順番で塗るとね、パンがきれいなピンク色になるの。ほら、きれいだよ」

頭をパンとたたかれた気分でした。子供だけが持つ柔らかな感性。それを知らぬ

うちに今まで否定してしまっていたのではないかと反省しました。

以来、何かあるたびに理由を聞くようにしています。これがなかなか根気の必要なことではあるのですが…。

ある時は、上下ボーダーの服を着て出かけると言って聞きません。かわいいお洋服をあれやこれやと出してもダメ。

せめてズボンだけでも無地のものを…と思ってもダメ。

理由を聞くと「シマウマだから」…そういえば昨日の夜、一緒に動物図鑑を読んだのでした。

「シマウマが好きだったね、よし!」と結局その日はシマウマのまま出かけました。

今ではもう、何かあるごとに理由を尋ねることが楽しみになっています。

子供の見ている世界はファンタジーに満ちています。その世界が、年齢を重ねていくうちに現実の世界に飲み込まれてしまっているのではないのでしょうか。

「それはどうして?」と尋ねる日々を過ごしたいものです。

せっかく私たちは、この夢に満ちた世界の傍らで暮らしているのですから。



引用資料:「パパと雨のち晴れの子どもたち」

【子育て相談の流れ Q&A】

☆ 子育てサポート“そよ風”の子育て相談の流れについてお知らせします。
(読者の疑問にお答えします)

Q1 相談がどのような流れで進められるのでしょうか。

A1 スタッフが相談対応します。様々な観点から相談内容に応じて、適切に対応するように努めています。

一度で相談が終わることもありますし、相談者の希望によって、継続して相談を行うこともあります。

相談の内容によっては、相談者の同意を得て、必要な支援機関と連携することもできます。

Q2 電話した後、どうなるか不安です。

A2 相談者の情報は、固く守られます。外部に漏れることはありません。

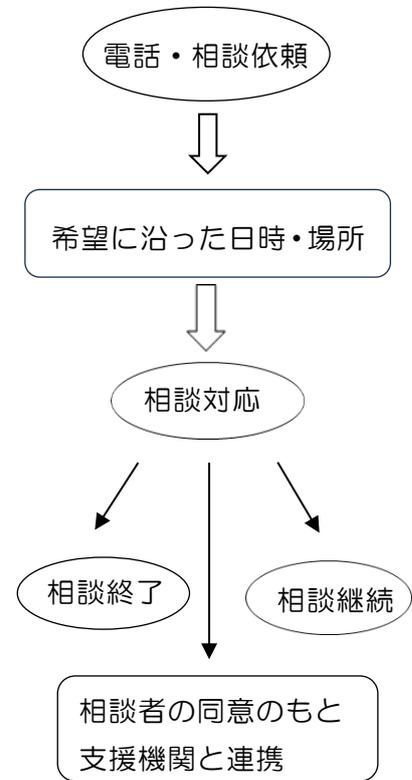
電話相談のみの方もいます。そよ風事務所に来所して相談するなど、相談方法が選べます。

Q3 仕事や家庭の事情で開所時間内に行くことができません。

A3 開所日以外でも、個別の相談については、希望する場所や時間帯を設定することができます。

Q4 相談したいことはあるのですが、意見を言われると思うと不安です。

A4 相談者の気持ちをしっかりと受け止め、ともに考え、お聞きするよう心がけています。決して、一方的な見方をしたり、意見を言ったりすることはありません。ご安心ください。



個別相談 まずは、お電話ください。

電話・FAX 0893 (24) 4580

月・火・木・金 午前9時～午後4時

【大洲子育てサポート“そよ風”】

大洲市アフタースクールおおず内 (元大洲幼稚園)

大洲市大洲 715

